

リハビリ通信

第6号

平成30年8月10日

リハビリ通信担当発行

1. 男体山の風景



5月の男体山です。まだ山頂や周囲の山に雪が見えます。平野部は暖かくなっても山間部はまだまだ寒そうです。暖かくなりリハビリ広場に患者さんが出るようになりました。

6月は山頂の雪も消え空気も澄んでいてさわやかでした。雲がきれいにかかっている、とても良い景色です。この景色の中患者さんも楽しくリハビリできました。



7月は暑い日が続きほとんど男体山を見ることができませんでした。他の山並みも写真はやっと見えていますが遠くの景色はほとんど見えませんでした。



2. リハビリ広場に新訓練機器！

5月にリハビリ広場に新たな訓練機器が完成しました。今までもリハビリ広場内をトラックになるように植木を配置して歩いていましたが、より難易度の高い砂利道を設置しました。



枠は施設管理のお手製で長さ約 3m、幅約 1m の砂利道です。砂利も細かい砂利と荒い砂利で 2 種類あり、いろいろな歩行場面に对应できるようになっています。設置直後より毎日歩行訓練に使われており、一段とリハビリ広場に出る患者さんが増えているように思います。



3. 宇都宮農園（春～夏）

昨年に引き続き今年度も野菜と花を植えることになりました。昨年度は野菜4～5種類、花2～3種類でしたが、今年は定番のミニトマト、キュウリ、ピーマン、ナスビ、枝豆に加えてオクラ、カボ



りしながら楽しく植えることができました。

花はアスター、サルビア、アサガオ、ヒマワリを植えています。すべての成長をお伝えした

チャ、トウモロコシ、小玉スイカ、トウガラシの計 10 種類を植えました。今年も患者さんと一緒に室内とリハビリ広場に分かれて、全員で一緒に植えました。植え方も患者さんにご指導いただいた



いのですがあまりにも多いため、今回は早くからよく収穫できているピーマン、ミニトマト、オクラについてお伝えしたいと思います。



収穫直前のピーマン（6月中旬）

一番最初に収穫できたのは 6 月中旬にピーマン



でした。植えた時にすでに小さな白い花が咲いており、その後も虫がつくこともなく順調に成長していきました。6 月中旬の写真でも両方の株にピーマンがなっているのが見えます。7 月になっても猛暑に負ける

ことなく次々と実がなり定期的に収穫できています。

ミニトマトはそういう品種なのか、生い茂るだけでなく幹が木のように太くなりあっという間に我々の身長を超えそうになりました。



た。患者さんからご指導いただきこれ以上高くないようにしました。花が次々と咲き続け、今も毎日収穫しないと追いつかないほどの勢いになっています。

オクラもピーマンと同様に植えた直後より順調に成長し、今は週に一度以上収穫できています。患者さんからいろいろな食べ方も教えていただき、スタッフで試食しました。



4. アジサイと患者さんの作品

6月に梅雨となり霏雨気を出そうと患者さんと折り紙でアジサイを作りました。ある程



度の大きさのものを作ろうと思うとかなりの数のアジサイの折り紙が必要になるのですが、皆さん熱心に作って下さいました。

今年の梅雨は短くてあまり長く掲示することはできませんでしたが、おかげさまで完成度は高かったです。

同じ頃に患者さんが完成させた籐の籠です。何を入れるのに使うのでしょうか。みかんには少し小さいですが飴にはもってこいのサイズです。



4. セタ



毎年行っていますが、今年もセタ飾りを作成しました。ここ数年この箆に願い事を書くことすべてではありませんが、願い事が実現しているので、自然と力が入ります。

箆は病院敷地内のいろいろなところに自生しており、大きめの箆を見つけて切ってきました。写真のようにリハビリテーション科前のエレベーターホールに2本飾りました。

あっという間に箆に願い事がいっぱいになり掛けるところが足りなくなるのではと心配したほど盛況でした。



内容はやはり「早く退院できますように」や「早く病気が治りますように」といった趣旨のものが多かったのですが、中には「科内安全」、「みんなが幸せになりますように」

等、全体のことを考えて書かれているものもありました。皆さんの願い事が叶うといいですね。

